

HAMA・RF による測定干渉を防ぐ THBR3

ラテックス系に最適な非特異反応ブロッキング試薬

THBR3 は、主にラテックス系試薬などにおいて、HAMA 等の非特異反応を効果的に抑制するための次世代阻害剤です。

ヒトサンプル中のマウス抗体に対する非特異反応を防ぎ、より正確で信頼性の高い測定を実現します。

THBR3 の主な特長



ラテックス系試薬に最適

主にラテックス系 (LTIA など) の検査系において、非特異反応の抑制に優れた効果を継続的に発揮します。



偽陽性・偽陰性を強力に抑制

HAMA (ヒト抗マウス抗体) やリウマトイド因子 (RF)、糖鎖抗体などの非特異免疫反応起因物質を効果的にブロックします。



高品質な精製抗体を採用

マウス腹水に由来する抗体を、Protein G を用いて高純度に IgG 精製しており、安定した品質を提供します。

課題：非特異免疫反応による測定干渉

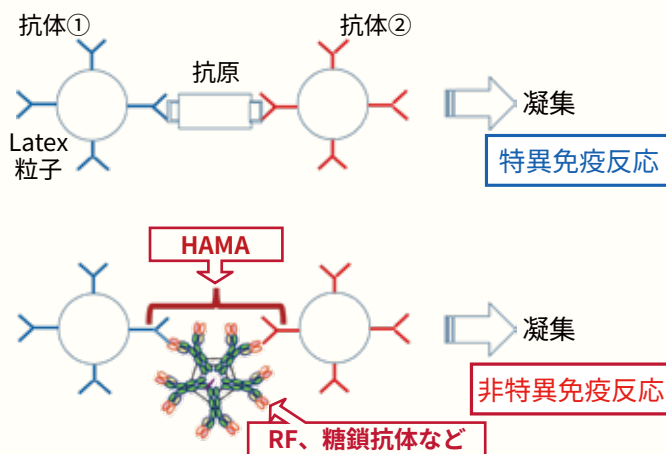
意図しない粒子の凝集

一般的な検査系において、検体中に存在する HAMA (ヒト抗マウス抗体) やリウマトイド因子 (RF) などが試薬中の抗体と結合する場合があります。

これらが結合すると、本来の抗原抗体反応とは無関係に、意図しない粒子の凝集 (非特異免疫反応) を引き起こす原因となります。

結果として、異常な高値 (偽陽性) や低値 (偽陰性) を示し、正確な判定や測定の重大な妨げとなります。

非特異免疫反応 (Latex 系)



THBR3 が、この課題を**解決**します。ウラ面をご覧ください。👉

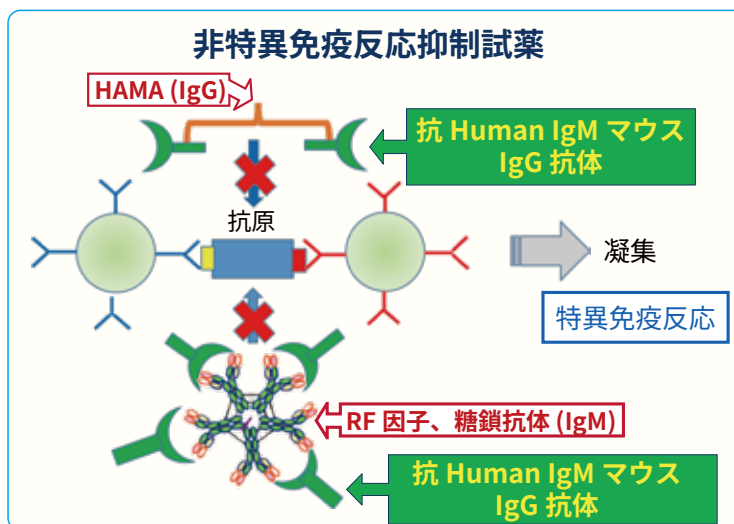
解決：THBR3 による確実な抑制原理

起因物質をピンポイントでブロック

THBR3（抗 Human IgM マウス IgG 抗体）を反応系に添加することで、非特異反応の根本原因に直接アプローチします。

試薬内の THBR3 が、HAMA や RF などの非特異免疫反応起因物質を強力に捕捉・ブロックし、試薬抗体への結合を未然に防ぎます。

このブロッキング作用により、対象となる抗原に対する特異的な免疫反応のみを正確に抽出し、信頼性の高い測定データの取得が可能になります。

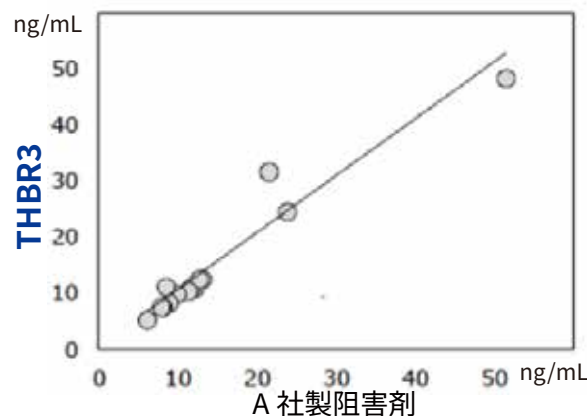
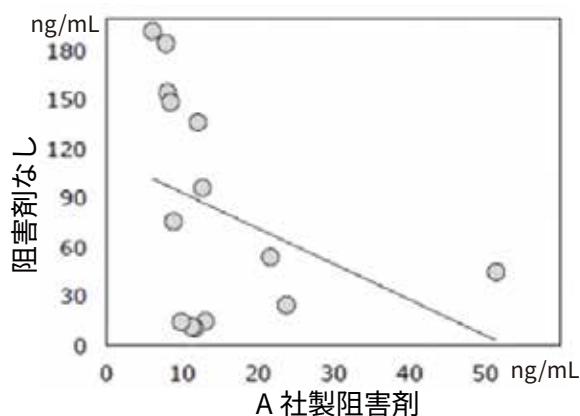


評価データ：LTIA 系での非特異反応阻害効果

RF 陽性検体 No.	阻害剤なし (ng/mL)	A 社製阻害剤 (ng/mL)	THBR3 (ng/mL)
検体 1	154.4	8.1	7.5
検体 2	148.7	8.5	11.1
検体 3	184.6	7.9	7.5
検体 4	192.0	6.1	5.2

【評価結果】

RF 陽性検体を用いた LTIA（ラテックス免疫比濁法）系での評価において、阻害剤を添加しない場合は非常に高い測定値（偽陽性）を示しましたが、本品（THBR3）を添加することで非特異反応が大幅かつ安定して抑制されていることが確認されました。



THBR3 仕様書

コード	8TTHBR3	容量	1.0 mL
内容	マウス anti Human IgM 抗体	保管	-20 °C以下（凍結融解の繰り返しはさけてください）
由来	マウス腹水	用途	マウス腹水由来のAnti Human IgM抗体で、主にラテックス系におけるHAMA等の非特異反応を抑制し、且つヒトサンプル中のマウスに対する非特異反応を抑制します。
精製	ProteinG による IgG 精製		
溶媒	PBS(-) 0.05%NaN3 含有		
蛋白濃度	10 mg/mL	備考	添加濃度は、各測定系で最適条件をご検討ください。

問い合わせ先：株式会社 特殊免疫研究所

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-10

☎ 03-3814-4081

<https://www.tokumen.co.jp>

